

平成30年度 大阪府立大手前高等学校 第2回学校運営協議会（全日制部会）

平成30年12月19日(水)

9:00～11:00

本校校長室

1. 開会・校長挨拶
2. 会長挨拶
3. 委員・出席者紹介
4. 授業見学
5. 協議
 1. 授業見学・授業評価について
 2. 学校経営計画進捗状況について
 3. その他
6. 閉会

配布資料

平成30年度 学校経営計画及び学校評価
補助資料

7. 委員からの主な意見

< 授業見学・授業評価について >

意見 授業アンケートの「先生は、生徒の意見を聞き授業改善に生かそうとしている」という項目の肯定的評価が低い。

< 課題研究について >

意見 勉強と並行して課題研究をすることに、どれぐらいの生徒が対応できるのか。AO入試で大学に合格した学生の中には、与えられたテーマについて考える力は身につけているが、基礎学力が足りない人もいる。課題研究をすることでプレゼンをするのは上手くなっているが、思考力がどれだけ向上しているのかはわからない。また、課題研究がAO入試対策のためのものになってしまう懸念もある。

意見 教員も生徒も学びに対する姿勢を変えていかなければならない。課題研究だけでなく、教科全体を通して、考える力やプレゼン能力を育成できる授業に変えていく。授業では何を核として教えるのかを、教科で話し合う必要がある。生徒は自分が何を学んでいるのかを考えずに授業を受けているような印象を受けた授業もあった。

意見 課題研究をしたことによって、教科の授業への意識が変わったという効果はあるか。課題研究に取り組むことで、壁にぶつかったときにどうすればよいのかを自分で考える力が身に付く。また、生徒自ら考え活動に取り組むことが達成感にもつながる。1

時間の授業で、生徒に何を身につけさせるかを考えなければならない。英語の授業では、生徒が教員の指示待ちになっておらず、主体的に学んでいる印象を受けた。

< 学校経営計画進捗状況について >

意見 課題研究は、基礎学力が十分でない生徒にとっては大きな負担である。最低限の学力を損なわないように対応する必要がある。学習に対して受け身な生徒が、どのように勉強すればよいのかを自ら考えることができるようになるための指導が必要ではないか。